

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ケアオリティ 介護付有料老人ホーム	階数	地上2F
建設地	浜松市東区材木町1271-1	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	60人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年7月13日
敷地面積	3,133㎡	作成者	縣 浩一
建築面積	1,272㎡	確認日	2015年7月1日
延床面積	2,398㎡	確認者	縣 浩一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 建設(緑), 更新・解体(青), 運用(黄), オンサイト(白), オフサイト(黒)

①参照値: 100% (0.469238823076236414680659469737882975 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 93%

③上記+②以外の: 93%

④上記+: 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 外部については、建物外観の意匠面での配慮や敷地内の緑化等により周辺環境・街並みとの調和を積極的に図った。建物内部では、維持管理が比較的容易な内装材や節水型の設備機器を採用することで環境保全に配慮した。		その他 特に無し
Q1 室内環境 換気計算に基づき、適切な換気量を確保することで空気質環境に配慮した。 各ゾーン別に冷房・暖房の選択可能な空調システムとし、利用者にとってより快適な室内環境となるよう配慮している。	Q2 サービス性能 各個室の面積を十分にとる計画とした。 内装についてはメンテナンス性に優れた仕上げ材を使用することで維持管理を容易にした。 また、60室の各居室に設置する腰掛式便器については節水	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の街並み・景観と調和のとれた外観となるよう、建物形状・使用する色彩について配慮した。また、敷地内の緑化を積極的に行うことで、景観だけでなく夏期における暑熱環境の緩和を図った。
LR1 エネルギー BPI=0.63、BEM=0.93を確保した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を積極的に採用した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量は参照値に対して93%とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される